

(講座) 臨床薬学 (研究室) 薬物治療学
(氏名) 小林 奨 (職名) 助教

【研究テーマ】

1. 抗結核薬の副作用調査及び遺伝子多型との相関解析に関する研究
2. 非小細胞肺癌治療薬ゲフィチニブの臨床効果とEGFR遺伝子変異との相関解析

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Higuchi N, Tahara N, Yanagihara K, Fukushima K, Suyama N, Inoue Y, Miyazaki Y, Kobayashi T, Yoshiura K, Niikawa N, Wen C-Y, Isomoto H, Shikuwa S, Mizuta Y, Kohno S, Tsukamoto K. A haplotype, *NAT2*6A*, of the *N*-acetyltransferase 2 gene is an important biomarker for a risk of anti-tuberculosis drug-induced hepatotoxicity in Japanese patients with tuberculosis. *World J Gastroenterol*. 13:6003-6008, 2007. (IF = 3.318)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 井上真理子, 江里口あい, 小林 奨, 塚元和弘: 虚血性心疾患の疾患感受性遺伝子の同定. 日本薬学会第127年会, 2007, 3/28-30 (富山)
2. 稲嶺達夫, 飯尾直美, 田原尚子, 樋口則英, 小林 奨, 塚元和弘: 抗結核薬の副作用と小Maf群遺伝子多型との相関解析. 日本薬学会第127年会 2007, 3/28-30 (富山)
3. 木原理恵, 大西由里子, 小林 奨, 柳原克紀, 塚元和弘: VISA血行性肺感染マウスモデルに対する新規カルバペネム系抗菌薬SMP-601の効果. 日本薬学会第127年会, 2007, 3/28-30 (富山)
4. 柳原克紀, 田原尚子, 稲嶺達夫, 樋口則英, 小林 奨, 関 雅文, 泉川公一, 大野秀明, 宮崎義継, 平瀉洋一, 塚元和弘, 河野 茂: 結核患者における肝障害発現とROS関連遺伝子多型との相関解析. 第47回日本呼吸器病学会, 2007, 5/10-12 (東京)
5. 高巢峰代, 卜部 奏, 小林 奨, 中野浩文, 山口博之, 中富克己, 中村洋一, 早田 宏, 橋口浩二, 福田正明, 福田 実, 木下明敏, 岡 三喜男, 河野 茂, 塚元和弘: 肺腺がんのEGFR変異とgefitinibによる治療効果との相関解析. 第48回日本肺癌学会学術総会, 2007, 11/8-9 (名古屋)

【研究費取得状況】

1. 平成19年度日本学術振興会 若手研究(B)

「クリプトコックス症の疾患感受性と重症化関連遺伝子の同定と遺伝子診断への応用」

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	2 編	(邦文)	1 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	7 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	8 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 編		